

## ≪講義内容≫

### 1. 議員活動を武器にする 一質問・政策・発信で成果を出す戦略一

#### ●研修目的

一般質問や政策提言など執行部に対する議員個人としての発言や市民に向けた議員活動の発信について、成果を出せる戦略を学ぶことにより、今後の議員活動の参考とするため。

#### ●講 師 長崎総合科学大学客員教授 宮本正一

#### ●研修概要

- ①一般質問の作り方
- ②質問術の独自性
- ③議会質問と政策提案のつなげ方
- ④予算書・決算書の読み方
- ⑤市民に聞く議員活動
- ⑥議員の情報収集術
- ⑦よくある誤解と必勝のヒント

#### ●考 察

一般質問は総括尋問と言うべき。細かい質問、原稿を読むような質問はだめ。具体的な数字に基づいているか、市民生活に直結した質問が大事とのこと。あまり専門的で市民が理解しにくいような質問は避けるべきだと思う。

また課題について追及していくことが求められるとのことであるが、あまり一担当を困らせるような質問は適当ではないと思われる。

自らの専門分野を質問したほうが効果的である。「光背効果」背中後ろに後光がさす状況は素晴らしい。他の議員とは違う角度から切り込むことも重要。データの加工も大切。

出来るだけ市民相談を受けるべき。多くの相談から得るものは多い。そして、担当課より先に関係者から意見聴取することが大切と実感する。

先進事例を研究調査することも大切であると感じた。

予算書や決算書を読解する能力を養うこと。専門用語の習得。税金と交付税、標準財政規模など。

ネットは活用すべし。そして現場主義に徹することが大事であると再確認する。

最終的には議員個人の資質によるが、常に市民の声に耳を傾ける姿勢が大切であるということを確認することができた。

以上